

21世纪大学日语系列教材

主编 陈崇君

中级日语 下

上海交通大学出版社

21 世纪大学日语系列教材

中级日语(下)

主 编 陈崇君
副主编 周 星 项杏林 于 杨
顾 问 稻森信昭
主 审 吴 侃

上海交通大学出版社

内 容 提 要

本教材是面向非日语专业人士的日语精读教材,以第二外语教学大纲以及日语能力考试出题基准为基准编写。本书紧承《中级日语(上)》,全书共4个单元,每单元5课。每课后附关于日本和日语的小知识,每单元均有测试题,供学习者自我检测之用。

图书在版编目(CIP)数据

中级日语.下/陈崇君主编. —上海:上海交通大学出版社,2009

(21世纪大学日语系列教材)

ISBN978-7-313-05758-7

I. 中... II. 陈... III. 日语—高等学校—教材 IV. H36

中国版本图书馆CIP数据核字(2009)第059300号

中级日语

(下)

陈崇君 主编

上海交通大学出版社出版发行

(上海市番禺路951号 邮政编码200030)

电话:64071208 出版人:韩建民

上海崇明南海印刷厂印刷 全国新华书店经销

开本:787mm×960mm 1/16 印张:21.5 字数:403千字

2009年8月第1版 2009年8月第1次印刷

印数:1~3030

ISBN978-7-313-05758-7/H

ISBN978-7-88844-399-0

定价(含MP3):39.00元

版权所有 侵权必究

编写说明

一、21 世纪大学日语系列包括精读、会话、听力、阅读等教材,本册为精读课本《中级日语》(下),供已经掌握 21 世纪大学日语系列教材《初级日语》(上)和《初级日语》(下)、《中级日语》(上)或具有日语能力考试 2 级前半部分水平的学习者使用。本书严格参照第二外语教学大纲及日语能力考试出题基准,编入日语语音、文字、语法、句型、功能、意念等方面的内容。题材大多以学校、家庭、社会生活等为主,同时兼顾日本文化、风俗习惯等方面的内容。

二、为充分体现第二外语教学大纲及日语能力考试的要求,本书既强调打好基础又重视语言运用能力的培养,既考虑教材的实用性又充分考虑素质教育的需要。

三、本书的编写思路是将课文中出现的语法以及重要单词作详细讲解,要求学习者在扎实掌握本单元语法、句型、词汇以及课文内容的基础上,完成每单元后的「実力テスト」(实力测试)综合测试题。

书后还收录了「日本事情」以扩充学习者的语言知识以及社会知识。考虑到学习效果,本册与《初级日语》(上)·(下)册以及《中级日语》(上)一样将「本文」中出现的生词全部注上了假名。

四、每单元 5 课,共四个单元 20 课。6~8 学时可学完一课。完成本书的学习,可以达到日语能力考试 2 级水平。本书配有光盘。

五、本书附有单词索引,共列入生词 1452 个、语法项目 182 条、词语解释 126 条。每课单词都注上单词调型。单词词性缩略语如下:

[名]—名词

[他]—他动词

[副]—副词

[代]—代词

[自]—自动词

[连]—连体词

[数]—数词

[五]—五段动词

[叹]—感叹词

[形]—形容词

[一]—一段动词

[接]—接续词

[形动]—形容动词

[サ]—サ变动词

[接尾]—接尾词

〔动〕—动词

〔力〕—力变动词

〔接头〕—接头词

〔专〕—专有名词

〔寒暄〕—寒暄语

〔词组〕—词组

六、考虑到中国人学习日语的实际情况,本书中的用言变化采用“未然形”、“连用形”、“终止形”、“连体形”、“假定形”、“命令形”、“推量形”等七种分类。

七、本书编写过程中主要参考、引用了下列参考书:

1. 文化中级日本語Ⅰ 文化外国語専門学校編
2. 日本社会探検 スリーエーネットワーク 架谷真知子等
3. 日本語で学ぶ日本語「中級」 黒羽栄司
4. 日本語表現の教室 中級 語彙と表現と作文 倉八順子
5. 中国語版 日本語中級 J501 ～中級から上級へ 土岐哲等
6. 留学生のための時代を読み解く上級日本語 宮原 彬
7. 中級から学ぶ日本語ワークブック 研究社 松田浩志
8. 新世纪大学日语 第四册 主编 郑玉和 水谷信子
9. 日本語文型辞典 くろしお出版 砂川有里子(代表)
10. 日本語集中トレーニング 初級から中級へ 星野恵子 遠藤藍子
11. 日语精读 第二册 外语教学与研究出版社 宿久高 周异夫
12. 日语惯用句型手册 同济大学出版社 吴侃
13. 日本語表現文法例文集 初級から中級にかけて 凡人社 坂本 正
14. すぐに使える実践日本語シリーズ 北京大学出版社 陈崇君 周星等
15. 国际日语水平考试 400 句型(1~2 级)增订本 南开大学出版社 张建华
16. 日本語能力試験出題基準「改訂版」 国際交流基金
17. 大学日语第二外语教学大纲
18. 留学生のための日本事情入門 文理閣 桂島宣広「編」
19. 日语新干线 5、7 2000 年 2 月
20. 日语惯用词组分类词典 外语教学与研究出版社 徐家驹 编著
21. 日语惯用句词典 外语教学与研究出版社
仓持保男 阪田雪子编 李 杰 庄凤英译
22. 明解日本語アクセント辞典 三省堂 金田一春彦監督 秋永一枝 編
23. 日语疑难问题解析练习册 外语教学与研究出版社 顾问 高梨育子

24. 日语惯用句辞典 湖北省科学技术出版社

仓持保男 阪田雪子编 计钢译

25. 外国人のための基本語用例辞典 文化庁

在此谨向各位原作者表示衷心的感谢。

八、本书由上海交通大学陈崇君、上海外国语大学周星、复旦大学项杏林、上海交通大学于杨等四位老师合作编写。

日本专家稻森信昭先生从编写大纲的制定到编写过程的每一个细节都给予了热心的指导,还为我们提供了大量的参考资料,全书的各个细节部分稻森先生都一一过目。吴侃教授百忙中为我们审阅全部书稿,并提出中肯的建议和意见,宫本先生也给予我们很多帮助,在此谨向以上各位表示衷心的感谢。

编者均为教学第一线的教师,由于水平及时间有限,本书难免出现错误、疏漏。如有不足之处,敬请各位读者批评指正。

陈崇君 周 星 项杏林 于 杨
2008 年秋

目 次

第一ユニット	1
第1課 水の東西	3
第2課 幸福の瞬間	14
第3課 美を求める心	28
第4課 楽しみは過程にある	41
第5課 自然と人間	57
第一 ユニット実力テスト	72
第二 ユニット	79
第6課 言語の開く世界	81
第7課 贈答のエチケット	90
第8課 日本人の心遣いと勘	104
第9課 神道と仏教の同時並信	118
第10課 文化摩擦	131
第二ユニット実力テスト	145
第三ユニット	151
第11課 サラリーマン「平和三原則」の怪	153
第12課 電子メールとトラブル	164
第13課 環境の世紀への提案	174
第14課 タバコの害	184
第15課 コンピュータ夢物語	193
第三ユニット実力テスト	203

第四ユニット	209
第 16 課 学園祭	211
第 17 課 見合いは親同士で	218
第 18 課 社交ダンスを踊ろう!	227
第 19 課 続く資格ブーム	237
第 20 課 私の教えた学生ワーストテン	246
第四ユニット実力テスト	257
附録	263
1 訳文	265
2 実力テスト解答	298
3 日本事情	303
4 語彙リスト	314

第一ユニット

第1課 水の東西

やまざきまさかず
山崎正和

本文

「鹿おどし」(注)が動いているのを見ると、その愛嬌の中に、なんとなく人生のけだるさのようなものを感じることがある。かわいらしい竹のシーソーの一端に水受けが付いていて、それに「寛」の水が少しずつ溜まる。静かに緊張が高まりながら、やがて水受けがいっぱいになると、シーソーはぐらりと傾いて水をこぼす。緊張が一気に解けて水受けが跳ね上がる時、竹が石を叩いて、こおんと、くぐもった優しい音を立てるのである。

見ていると、単純な、緩やかなリズムが、無限にいつまでも繰り返される。緊張が高まり、それが一気に解け、しかし、何事も起こらない徒労がまた一から始められる。ただ、曇った音響が時を刻んで、庭の静寂と時間の長さをいやがうえにも引き立てるだけである。水の流れなのか、時の流れなのか、「鹿おどし」は我々に流れるものを感じさせる。それをせき止め、刻むことによって、この仕掛けはかえって流れて止まないものの存在を強調していると言える。

私はこの「鹿おどし」を、ニューヨークの大きな銀行の待合室で見たことがある。日本の文化がいろいろと紹介される中で、あの素朴な竹の響きが西洋人の心を魅き付けたのかもしれない。だが、ニューヨークの銀行では人々はあまりに忙しすぎて、一つの音と次の音との長い間隔を聴くゆとりはなさそうであった。それよりも窓の外に噴き上げる華やかな噴水のほうが、ここで

は水の^{げいじゆつ}芸術として明らかに人々の気持ちをくつろがせていた。

流れる水と^ふ噴き^あ上げる水。

そういえばヨーロッパでもアメリカでも、^{まち}街の^{みごと}広場にはいたるところに見事な^{ふんすい}噴水があった。ちょっと名の^{ていえん}ある庭園に行けば、^{ふんすい}噴水はさまざまな趣向^{しゆこう}を凝^こらして風景^{ふうけい}の中心になっている。有名なローマ郊外の^けエステ家の別荘^{べつそう}など、何百という^{ふんすい}噴水の群れが庭をぎっしりと埋め^{うず}尽くしていた。^{じゆもく}樹木も^{くさばな}草花もここでは^そ添え物^{もの}に過ぎず、^{そうだい}壮大な水の^{ぞうけい}造型が^{とどろ}轟きながら^{りんりつ}林立しているのに私は息をのんだ。それは^ゆ揺れ^{うご}動く^{ちようこく}バロック彫刻^{ちようこく}さながらであり、ほとぼしるというよりは、音を立てて^{くうかん}空間に^{せいし}静止しているように見えた。

時間的な水と、^{くうかんてき}空間的な水。

そういうことをふと考えさせるほど、日本の伝統の中に^{ふんすい}噴水というものは少ない。せせらぎを作り、^{たき}滝をかけ、池を^ほ掘って水を見ることをあれほど^{この}好んだ日本人が、^{ふんすい}噴水の美だけは近代に^{いた}至るまで忘れていた。伝統は^{おそ}恐ろしいもので、現代の都会でも、日本の^{ふんすい}噴水はやはり西洋のものほど美しくない。そのせいか東京でも大阪でも、^{まち}街の^{ひろば}広場はどことなく間が^ま抜けて、^ぬ表情^{ひようじよう}に^{とば}乏しいのである。

西洋の空気は^{かわ}乾いていて、人々が^{ひとびと}噴き^ふ上げる水^あを求めたということもあるだろう。ローマ以来の^{すいどう}水道の技術が、^{ふんすい}噴水を^{はったつ}発達させるのに有利であったということも考えられる。

だが、^{じんこうてき}人工的な^{たき}滝を作った日本人が、^{ふんすい}噴水を作らなかった理由は、そういう^{がいめんてき}外面的な事情ばかりではなかったように思われる。日本人にとって水は^{しぜん}自然に流れる^{すがた}姿が美しいのであり、^{あつしゆく}圧縮したりねじ^ま曲げたり、^{ねんど}粘土のように^{ぞうけい}造型する^{たいしよう}対象ではなかったのであろう。

言うまでもなく、水にはそれ^{じたい}自体として^{さだ}定まった^{かたち}形はない。そうして、

かたち 形がないということについて、おそ 恐らく日本人は西洋人と違った独特の好みを持っていたのである。「行雲 流水」という ぶっきやうてき ことば 仏教的な言葉があるが、そういう思想はむしろ思想以前の かんせい 感性によって うらづ 裏付けられていた。それは がいがい 外界に対する じゅうどうてき たいど 受動的な態度というよりは、せつきよくてき 積極的 に、かたち 形 なきものを おそ 恐れな心現われではなかっただろうか。

見えない水と、目に見える水。

もし、流れを感じることもだけが大切なのだとしたら、われわれ 我々は じつかん 水を 実感する のにもはや水を見る必要さえないと言える。ただ だんぞく 断続する 音の ひび 響きを 聴いて、その かんげき 間隙に流れるものを かんせつ 間接に 心で あじ 味わえばよい。そう考えればあの「鹿おどし」は、日本人が水を かんしょう 鑑賞 する 行為の 極致を表す 仕掛けだと言えるかもしれない。

注：「鹿おどし」庭園施設の一つ。そうず 添水・しかおどしともいう。本来は、その音で田畑を荒らすシカやイノシシなどを追い払うための装置。

新出単語

鹿おどし	[名]	竹筒敲石；驱赶鸟兽装置
(ししおどし、しかおどし) ③		
愛嬌（あいきょう）①	[名]	可爱之处；亲切，好感
けだるい③	[形]	倦怠的，懒散，无精打采的
かわいらしい（可愛らしい）⑤	[形]	可爱的，讨人喜欢的；小巧玲珑的
竹（たけ）①	[名]	竹子
シーソー（seesaw）①	[名]	跷跷板，压板
やがて①	[副]	不久，很快，即将
一端（いったん）①	[名]	一端，一头
水受け（みずうけ）①	[名]	戽斗，积水器
笕（かけい）①	[名]	导水管，引水筒
溜まる（たまる）③	[自五]	积存，积压

ぐらりと②	[副]	东西大幅度地晃动状
こぼす(溢す)②	[他五]	洒, 泼
一気に(いっきに)①	[副]	一口气地, 一下子
解ける(ほどける)③	[自一]	(心情)缓解; 解开, 松开
跳ね上がる(はねあがる)①	[自五]	弹起, 跳起; 飞溅
くぐもる③	[自五]	(声音)含混不清
音を立てる(おとをたてる)②+②	[词组]	发出音响
単純(たんじゅん)①	[名・形动]	单纯, 简单; 纯净
何事(なにごと)①	[名]	何事, 什么事情
徒劳(とろう)①	[名]	徒劳, 徒劳无益
曇る(くもる)②	[自五]	含混不清; 天阴; 模糊不清
刻む(きざむ)①	[他五]	刻; 雕刻; 铭刻; 切碎
時を刻む(ときをきざむ)②+①	[词组]	刻画时间, 时间逝去
静寂(せいじやく)①	[名・形动]	寂静, 沉寂
いやがうえに②	[副]	越发, 更加
引き立てる(ひきたてる)④	[他一]	使突出, 衬托; 提拔; 振作
我々(われわれ)①	[代]	我们
せき止める(せきとめる)④	[他一]	拦住, 堵住, 拦截
仕掛け(しかけ)①	[名]	机关, 装置, 结构
かえって(却って)①	[副]	反而, 反倒
止む(やむ)②①	[自五]	停止, 终止
ニューヨーク(New York)③	[专]	纽约
素朴(そぼく)①	[形动]	朴素, 淳朴; 单纯, 简单
間隔(かんかく)①	[名]	间隔
ゆとり①	[名]	宽裕, 余地
噴き上げる(ふきあげる)④	[他一]	喷起; 刮起
華やか(はなやか)②	[形动]	显赫, 辉煌; 华丽, 鲜艳
噴水(ふんすい)①	[名]	喷泉
くつろぐ(寛ぐ)①	[自五]	轻松, 轻松自在
至るところ(いたるところ)②⑥	[名]	到处, 所到之处
見事・美事(みごと)①	[形动]	美丽, 漂亮, 精彩; 完全
趣向を凝らす	[词组]	精心设计
(しゅこうをこらす)①+②		

ローマ (拉 Roma) ①	[专]	罗马
エステ家 (Este け) ⑩	[专]	埃斯特家族
別荘 (べっそう) ③	[名]	别墅
群れ (むれ) ②	[名]	群, 伙; 伙伴
埋める (うずめる) ④⑩	[他一]	埋没; 挤满; 填满
添え物 (そえもの) ⑩	[名]	附加物; 搭配物
壮大 (そうだい) ⑩	[形动]	宏伟, 宏大
造型 (ぞうけい) ⑩	[名・他サ]	造型
轟く (とどろく) ③	[自五]	(名气) 响震; 轰鸣; (心情) 激动
林立 (りんりつ) ⑩	[名・自サ]	林立
揺れ動く (ゆれうごく) ④	[自五]	不断变化; 左右摇摆
バロック (法 baroque) ②	[名]	巴洛克式 (十六世纪末至十八世纪初的欧洲美术样式)
彫刻 (ちょうこく) ⑩	[名・他サ]	雕刻, 雕塑
ほとばしる (迸る) ④	[自五]	进出, 喷出, 溅出
静止 (せいし) ⑩	[名・自サ]	静止
せせらぎ ⑩	[名]	细流, 浅溪; 潺潺水声
滝 (たき) ⑩	[名]	瀑布; 湍流
掘る (ほる) ⑩	[他五]	挖, 掘
恐ろしい (おそろしい) ④	[形]	可怕的; 令人担心的
どことなく ④	[副]	总觉得, 总有些
表情 (ひょうじょう) ③	[名]	表情
乏しい (とぼしい) ③	[形]	缺乏的, 不足的; 贫穷的
乾く (かわく) ②	[自五]	干; 干枯
水道 (すいどう) ⑩	[名]	自来水管道路; 水路, 航道
外面的 (がいめんてき) ⑩	[形动]	表面的, 表面上
圧縮 (あっしゅく) ⑩	[名・他サ]	压缩
ねじる (振る) ②	[他五]	扭, 拧; 扭转
曲げる (まげる) ③⑩	[他一]	弄弯, 折弯; 歪曲; 违心
粘土 (ねんど) ①	[名]	黏土
対象 (たいしょう) ⑩	[名]	对象
定まる (さだまる) ③	[自五]	固定, 稳定; 决定, 规定

恐らく(おそらく) ②	[副]	恐怕, 或许, 大概
行雲流水(こううんりゅうすい) ①	[名]	行云流水, 听其自然
仏教(ぶつきょう) ①	[名]	佛教
感性(かんせい) ①①	[名]	感性, 感受性
裏付ける(うらづける) ④	[他一]	证实, 印证
受動的(じゅうどうてき) ①	[形动]	被动的
恐れる(おそれる) ③	[自他一]	害怕, 恐惧; 担心
もはや(最早) ①	[副]	(事到如今) 已经
断続(だんぞく) ①	[名・自サ]	断续
響き(ひびき) ③	[名]	响声; 回音, 回响; 影响
間隙(かんげき) ①	[名]	间隙, 空隙
鑑賞(かんしょう) ①	[名・他サ]	鉴赏, 欣赏
極致(きょくち) ①	[名]	最高境界; 极点, 顶点

文法と文型

一、「ように見える」

「ように」是比况助动词「ようだ」的连用形。「～ように見える」这一句型表示“看上去像……”的意思。

- ほとばしるというよりは、音を立てて空間に静止しているように見えた。(与其说是喷发而出, 倒不如说像是喷泉发着声响在空间静止了。)
 - 便利なように見えたので買ってみたが、使ってみるとたいしたことはなかった(ほうせき)。(看上去好像非常方便, 所以就买下了, 可实际一用并不怎样。)
 - この宝石は猫の目のように見えるところから、キャッツアイという名前がついている。(这种宝石看上去很像猫的眼睛, 所以起名为猫眼石。)
- 「見える」前面还可用「ように」以外的表达方式。
- あの子は背が高くて、とても小学生に見えない。(那个孩子个子很高, 一点不像个小学生。)
 - 父は最近体の調子がいいらしく、前よりずっと元気に見える。(父亲最近身体状况好像不错, 看上去比以前精神多了。)
 - あの方は、実際の年よりずっと若く見えます。(他比实际年龄看上去年轻得多。)
 - あの方は、実際の年より老けて見えます。(他比实际年龄看上去老。)

- この仕事ははじめ楽そうに見えたが、やってみるとなかなか大変だ。
(这工作开始看上去好像很轻松似的, 可实际一做非常辛苦。)

二、「～に至るまで」

「至る」是动词, 意为“至”、“到达”。以「～に至るまで」的形式, 表示时间、空间、行为、状态等到达某个范围或程度。常与「から」一起使用。

- 日本人が、噴水の美だけは近代に至るまで忘れていた。(日本人直到近代一直都忘记了喷泉之美。)
- 旅行中に買ったものからハンドバックの中身^{なかみ}に至るまで、厳しく調べ^{きび}られた。^{しら}(从旅行时买的物品到手提包里的东西都被进行了严格的检查。)
- 日本では、沖縄から北海道に至るまでどこでも米^{こめ}が生産されている。
(在日本, 从冲绳到北海道全国各地都生产大米。)
- 細かい点^{こま}に至るまで注意^{はら}を払った。(直到细节都加以注意。)

三、「～としたら」

「～としたら」接在用言及助动词终止形后, 表示假定条件或既定条件, 意为“如果是那样的话”、“既然是那样的话”。类似的表达方式有「～とすると」「～とすれば」。

- もし、流れを感じることもだけが大切なのだとしたら、我々は水を実感するのにもはや水を見る必要さえないと言える。(如果重要的是感到流动, 那么可以说我们体验水时甚至无需看见水了。)
- 医学部に入るとしたら、どのくらいお金が必要なのだろうか。(假如要报考医学系, 到底需要多少费用呢?)
- もし5百万元の宝くじが当たったとしたら、家を買います。(假如我中了五百万元的彩票, 就买房子。)
- 我々の計画が敵に知られていたとすれば、仲間の誰かが漏^もらしたことになる。(如果我们的计划被敌人知道了, 那就是我们中有人泄漏了。)
- 一時間待ってまだ何の連絡もないとすると、途中で事故にでもあったかも知れない。(既然等了一小时还没有任何联系, 那也许是途中遇到事故什么的了吧。)